

令和6年度 白鳥小学校 学校経営方針

【教育理念】 自分も周りも 大切にする (子どもも保護者も職員も)	【学校の教育目標】 ◎本物の主体性 「生き生きと行動する子」 (自主性、社会性、創造性)	【子どもの様子】 ○人権意識の高まり リーダー性の高まり 自己有用感 ●自己肯定感 不登校傾向 集団の凝集力 規範意識につながる想像力
---	--	--

【めざす児童像】「自律の基盤づくり」 ◎「にこにこ宣言の具現を目指し、良くなりたい自分と良くなり たい仲間の両方を大切にする」 ・「参加」「協力」「貢献」の良さを伝え合う ・一人でも、みんなでも、できる	【指導の構え】 ◎自分も周りも大切にする児童の学習・活動を生み出すためのシナリオを創る&共に学ぶ教師
--	--

【大切にしている児童の意識】

- 自己存在感…「自分と仲間を理解し認めようとする」
- 自己肯定感…「自分の言動に自信をもつ」
- 自己有用感…「周りに役立つ自分に気付く」

を大切にしつつ、常に **当事者意識** をもって活動できるようにする。

【育てる内容】 ◎誠実さ (自主性) ◎思いやり (社会性) ◎工夫表現 (創造性)	【指導の重点】 ・児童が当事者意識で願い、思考・判断し、実行・検証できるようにする。 ・個や集団の特性やニーズに応じた場と方途を設定する。 ・「参加」「協力」「貢献」の良さ・楽しさを伝え合う。
--	--

【活動の段階と活動内容】

【第1ステージ】 ・自分、仲間、先生との生活を楽しみ、所属感に浸る。	【第2ステージ】 ・願い→思考→決定→実践→検証を経験し達成感に浸る。	【第3ステージ】 ・試行錯誤→対話→成功→自覚を経験し充実感に浸る。	【第4ステージ】 ・自分と仲間の成長を自覚し、感謝と決意をもつ。
--	---	--	--

生徒指導

【重点】 自尊感情を高め、当事者意識をもって自ら考え行動する力を身に付ける。

【視点】 参加 ↓ 協力 ↓ 貢献	仲間づくり部 【重点】 集団の一員として、当事者意識をもって集団生活をより楽しくしようと表現できるようにする。 ○学級活動 ◎児童会・委員会活動 ◎学校行事 ◎縦割り活動 ○クラブ活動	学びづくり部 【重点】 「学習」ねばり強くやりぬき、みんなと助け合いながら、よく考えてつくり出せるようにする。 ○教科教育 ◎総合的な学習の時間 ○図書館教育 ◎研究推進	【スタンス】 ①一人を全職員で支援。 ②児童の思い、保護者の願い、職員の考えを同じ方向に。 ③集団を利用。
	自分づくり部 【重点】 創造的な活動を支える安心・安全な生活づくりに誠実に取り組めるようにする。〔仲間づくり部と学びづくり部の下支え〕 ◎安全指導 ○健康指導 ○給食指導 ○清掃指導		

特別支援教育

【重点】 人と関わる中で自分を見つめ、相手を受け入れて、共に学ぼうとするようにする。
 ◎特別な配慮を要する児童への個別支援 ◎お互いを理解・尊重し合えるための集団指導

地域・保護者との活動

【目的】 学校は「地域とともにある学校づくり」、地域は「子どもを核とした地域づくり」
 ・学校運営協議会を核としたネットワークの確立 ・保護者も職員も同じ方向を向くPTA活動の工夫

PTA活動 ← 白鳥公民館 ← **学校運営協議会** → 郡上市図書館 → 各種地域団体